

# 国語科研究委員会

## 1 研究テーマ

国語科研究委員会研究テーマ

「読む力」を育むための指導はどうあったらよいか  
——文学的教材の読解鑑賞指導を通して——



## 2 研究内容（研究課題）

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1 研究授業実施期日 | 11月18日（水）          |
| 2 授業会場     | 須坂市立常盤中学校          |
| 3 題材名      | 自分を見つめる 「少年の日の思い出」 |
| 4 学年・授業者氏名 | 1学年 羽場 いづみ 教諭      |

### 5 本年度の研究

#### (1) テーマ設定理由

国語研究委員会では、本郡教育会中心講師の益地憲一先生（関西学院大学教授）より直接ご指導を賜る機会を頂き、今年度で三年目を迎えた。平成19年度の高山小学校の研究では「発表した児童生徒にどう対応するか」という「受け止める教育」の場面づくり、また「受け止めたものをいかに児童生徒に返していくか」という視点から、教師の主導性と学習者の主体性が兼ねあった授業づくりをご指導いただいた。また、平成20年度の東中学校の研究では文学教材の読解鑑賞指導において、板書の計画性と構造化の大切さを授業の教材研究の方法と合わせてご指導いただいた。また、グループ学習、学習カード、課題の醸成等多くのことを学ばせていただいた。今年度は昨年を引き続き「読む力」に視点を当て、成果を生かしながら一層研究を深めていきたいと考え標記の研究テーマを設定した。

#### (2) 研究の柱と工夫

- ① 友達と互いに自分の読みを伝えあいながら、意見交換がおもしろいと感じ読みが深まったり広がったりする学習にしていくにはどのような支援をしていったらよいか（学びがいをいかに持たせるか）
  - ・ 今まで持たなかった何かが、身についた。（知った、分かった、できた）
  - ・ 必ずしも正解ではないが自分の考えが授業の中に位置づいた。（授業に参加した）
  - ・ 学習には苦心したが、その努力が認められた。努力が楽しかった。
  - ・ やる気が湧いて、次の時間への構えや見通しが持てた。
  - ・ グループの友達や学級の友達と話し合ったら前に読んだときより楽しく読めた。
- ② 文学的教材を単に感覚的情緒的に読む傾向が著しく、文学的教材を的確に読む読み方が分からない生徒に読み方のコツを理解させるにはどのような支援をしていったらよいか。（作品の読み方をいかに持たせるか）
  - ・ 文学的教材の登場人物、ストーリーを学習展開の初期段階で把握する。
  - ・ 読みの論理的側面と想像的な側面を学習活動に位置づける。
  - ・ 教材研究の段階で相関性のある叙述を授業者自ら発掘し整理する。